

**2020年入社 新入社員対象調査**  
**－ 2020年入社 新入社員の就業実態－**  
**【テレワーク編】**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、2020年入社の新入社員に対して調査を実施しました。今回、調査結果の一部を【テレワーク編】としてまとめましたので、ご報告申し上げます。

< サマリー >

2020年入社者の現在の勤務先（5月時点）について、テレワークが導入されているのは約半数。現在の就業の仕方について、「基本的に出勤しての就業」が約6割であるが、「状況に応じて出勤やテレワークでの就業」は約3割、「テレワークでの就業」は1割未満である。

就業の仕方の感想について、テレワークでの働き方では、テレワークによって通勤時間を自分の時間に充てられるなどや業務に集中できている者もいる一方で、コミュニケーションが取りづらいうや自宅だと集中できないなども見られる。また、テレワーク制度があるにもかかわらず活用できないや、2年目にしてまだ一度も出勤できていない状況もあるようだ。

「テレワーク」での働き方についてどう思うか聞いたところ、「働きたい・計」は約7割。その理由は、「コロナで人の多い通勤などはなるべく避けたいから」や「出勤・退勤の手間などがなくなり、自分のスキルを高められる機会が増えると思うから」「現代的な働き方って感じがするから」などが見られる。一方、「働きたくない・計」は1割強で、その理由は、「オフィスのほうがコミュニケーションが円滑に行える」や「直接話して仕事をしたい」「自分の仕事ではテレワークは無理なので」などが見られる。また、どちらともいえないと思っている者（約2割）は、「家にテレワークに適したWi-Fiや家具がないため」や「通勤時間を減らせる等はあるが、業務の効率化は難しい」「今の会社は対面での仕事のため、テレワークの導入は難しいし、それに納得しているため」などが見られる。

< 内容 >

- 1) 現在の勤務先（5月時点）での「テレワーク」導入状況について・・・3
- 2) 現在の勤務先（5月時点）での就業の仕方について・・・4
- 3) 現在の就業の仕方（5月時点）についての感想（自由回答）・・・5
- 4) 「テレワーク」での就業意向度について・・・6
- 5) 「テレワーク」での就業意向別の理由について（自由回答）・・・7
- 6) 「テレワーク」導入状況から見る「テレワーク」での就業意向度について・・・8

## 調査概要

### ■2020年入社 新入社員の就業に関する調査

調査目的：新入社員の入社前・後の動向や価値観、就業状況等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年入社の新入社員

調査期間：2021年5月13日～19日

調査回答数：993人

#### □卒業後最初の就職先業種

	n	%
全体	993	100.0
建設業	52	5.2
製造業	303	30.5
流通業	49	4.9
金融業	67	6.7
サービス・情報業	427	43.0
官公庁	55	5.5
その他・計	40	4.0

#### □現在の勤務先業種

	n	%
全体	993	100.0
建設業	53	5.3
製造業	311	31.3
流通業	45	4.5
金融業	65	6.5
サービス・情報業	423	42.6
官公庁	55	5.5
その他・計	41	4.1

※その他・計は、「農業・水産・鉱業」  
「各種団体」「その他」を含む

#### □卒業後最初の就職先地域

	n	%
全体	993	100.0
北海道・東北	107	10.8
関東	422	42.5
中部	104	10.5
近畿	207	20.8
中国・四国	73	7.4
九州	80	8.1

#### □現在の勤務先地域

	n	%
全体	993	100.0
北海道・東北	107	10.8
関東	424	42.7
中部	102	10.3
近畿	205	20.6
中国・四国	74	7.5
九州	81	8.2

※中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、  
山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県  
近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、  
兵庫県、奈良県、和歌山県

#### ◀ 調査結果を見る際の注意点 ▶

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある
- n数が50未満の場合、参考値として掲載している

#### ◀ 用語の定義 ▶

- 現在の勤務先＝2021年5月時点の勤務先
- テレワーク＝ICT(情報通信技術)を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方

## 1) 現在の勤務先（5月時点）での「テレワーク」導入状況について

### 現在の勤務先でのテレワーク導入状況は、約5割

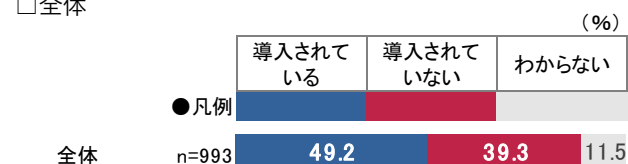
2020年入社者の現在の勤務先でのテレワーク導入状況は、49.2%と約半数である。

業種別を見ると、導入されているところが半数を超えているのは、「建設業」「金融業」「サービス・情報業」である。

地域別を見ると、導入されているところが半数以上なのは、「関東」「中国・四国」である。

#### ■現在の勤務先のテレワーク導入状況（全体／単一回答）

□全体



□業種別

(%)

	n	導入されている	導入されていない	わからない
全体	993	49.2	39.3	11.5
建設業	53	54.7	34.0	11.3
製造業	311	48.9	36.0	15.1
流通業	45	48.9	44.4	6.7
金融業	65	53.8	38.5	7.7
サービス・情報業	423	50.8	39.7	9.5
官公庁	55	38.2	54.5	7.3
その他・計	41	36.6	41.5	22.0

□地域別

(%)

	n	導入されている	導入されていない	わからない
全体	993	49.2	39.3	11.5
北海道・東北	107	36.4	54.2	9.3
関東	424	58.7	31.8	9.4
中部	102	34.3	50.0	15.7
近畿	205	44.4	42.0	13.7
中国・四国	74	50.0	32.4	17.6
九州	81	46.9	44.4	8.6

※ n 数が50未満の場合、参考値として掲載

## 2) 現在の勤務先（5月時点）での就業の仕方について

### 現在の勤務先での就業の仕方は、約6割が「基本的に出勤しての就業」

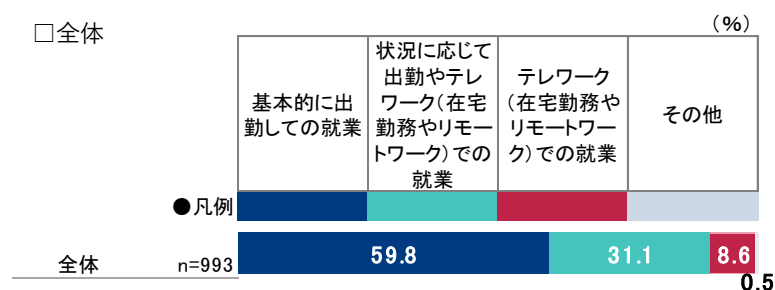
2020年入社者について、現在の勤務先での就業の仕方は、「基本的に出勤しての就業」が59.8%と約6割で「状況に応じて出勤やテレワークでの就業」が31.1%、「テレワークでの就業」8.6%である。

業種別に見ると、「基本的に出勤しての就業」が比較的高いのは、「流通業」「官公庁」であり、一方比較的低いのは、「建設業」「製造業」である。

地域別に見ると、「基本的に出勤しての就業」が比較的高いのは、「中国・四国」「九州」であり、一方低いのは、「関東」である。

#### ■現在の勤務先での就業の仕方（全体／単一回答）

□全体



□業種別

	n	基本的に出勤しての就業 (%)	状況に応じて出勤やテレワーク(在宅勤務やリモートワーク)での就業 (%)	テレワーク(在宅勤務やリモートワーク)での就業 (%)	その他 (%)
全体	993	59.8	31.1	8.6	0.5
建設業	53	54.7	41.5	3.8	-
製造業	311	49.2	40.8	10.0	-
流通業	45	73.3	24.4	2.2	-
金融業	65	66.2	29.2	4.6	-
サービス・情報業	423	62.4	27.2	9.7	0.7
官公庁	55	76.4	18.2	5.5	-
その他・計	41	73.2	12.2	9.8	4.9

□地域別

	n	基本的に出勤しての就業 (%)	状況に応じて出勤やテレワーク(在宅勤務やリモートワーク)での就業 (%)	テレワーク(在宅勤務やリモートワーク)での就業 (%)	その他 (%)
全体	993	59.8	31.1	8.6	0.5
北海道・東北	107	57.0	30.8	11.2	0.9
関東	424	52.6	35.8	11.3	0.2
中部	102	58.8	31.4	9.8	-
近畿	205	66.8	25.4	6.8	1.0
中国・四国	74	73.0	27.0	-	-
九州	81	72.8	24.7	1.2	1.2

※ n数が50未満の場合、参考値として掲載

### 3) 現在の就業の仕方（5月時点）についての感想（自由回答）

#### 「テレワーク」での働き方に賛否。テレワークと出勤とのハイブリッド型に好意的

現在の就業の仕方について感想を聞いたところ、テレワークでの働き方について、テレワークによって通勤時間を自分の時間に充てられるなどや業務に集中できている者もいる一方で、コミュニケーションが取りづらいや自宅だと集中できないなども見られる。また、テレワーク制度があるにもかかわらず活用できないや、2年目にしてまだ一度も出勤できていない状況もあるようだが、働き方そのものについての感想も見られる。

#### ■現在の就業の仕方について（自由回答）

##### <基本的に出勤しての就業>

- テレワークの制度が導入されているが、業務上出勤しないとできない仕事が多く、実際にテレワークは行うことができない。
- 在宅勤務できる職種とできない職種があり、そこに不公平感を感じる。
- 時間や場所に関係なくはたらかしたい。リモートワークの制度はあるが、コロナの影響で会社から指示が出たとき以外で利用している人を見たことがない。また、リモートワークができる部署がかなり限られているので、制度の意味がない。
- 在宅勤務が難しい職種ながら、業務の分配などを工夫して、可能な限り働きやすい環境を作ろうとしてくれているので、満足している。
- スタッフの方々やお客様と顔を合わせて楽しく仕事ができているため、とても満足している。
- お客様の元で働いており、ルールに従う必要がある。業務を覚えるのが大変で、電話対応が多いため、ストレスを抱えている。今すぐにでも辞めたいと感じている。
- 仕事量が多いのに基本給が安く、時間外で稼ぐしかない。自由に休みが取れたり人間関係が良かったりするの嬉しい。

##### <状況に応じて出勤やテレワーク（在宅勤務やリモートワーク）での就業>

- 残業時間の管理がきちんとされていないと思っている。
- もっと効率よく働きたい。朝は就業時間に間に合うように早めに始めて、残業するのは慣れたが納得はしていない。
- テレワークを導入している面では良いが、テレワーク＝サボっているという風潮がある。特に自分のような若手は、どうせサボってると言われ、これまで導入されていなかったタスク管理をさせられるようになった。その点で不愉快。
- テレワークができることはありがたいが、自宅だと集中できず、効率が悪くて困っている。
- テレワークは自由に選べるのでありがたい。はじめはテレワークが中心だったが、コミュニケーションと広いデスクがないとはかどらないので出社を増やした。出社しないと人間関係が築けないと思った。
- 残業手当が見込みなので、いくら残業しても給料が変わらないのがいやです。

##### <テレワーク（在宅勤務やリモートワーク）での就業>

- テレワークできて上司にも頻繁に相談できる環境なので、満足している。
- 在宅ワークができることには、電車で出勤しなくていいので安心はできるが、リモートワーク、最初のうちは面識もあまりなく、コミュニケーションも取りづらかったので慣れるまでは精神的にも大変だった。
- 新卒一年目は出社が良かった。
- テレワークでの勤務をいつまでも続けたい。新しい業務を覚えるときなどに不定期に出社する今のスタイルが性に合っている。
- リモートワークは仕方ないことだが、上司や先輩の作業を近くで見て技術を盗めないのは残念。
- 部署ごとにルールが違うため異動した時のことを考えると不安はあるものの、概ね現在の働き方に満足している（在宅勤務主体、必要な時に随時出社）。

##### <その他>

- 入社してからずっとコロナで休業中なので悲しい。2年目になるのにまだ一度も出勤できていない。
- （出向のため）全然違う仕事をしていて、就職したのかわからない。

## 4) 「テレワーク」での就業意向度について

### 約7割は、「テレワーク」で働きたい

「テレワーク」での働き方についてどう思うか聞いたところ、「働きたい・計」は68.4%と、約7割は働きたいと思っているが、働きたくないと思っている者も1割強いる。

その理由を自由回答で聞いたところ（次ページ参照）、働きたいと思っている者は、「コロナで人の多い通勤などはなるべく避けたいから」や「出勤・退勤の手間などがなくなり、自分のスキルを高められる機会が増えると思うから」「現代的な働き方って感じがするから」などが見られる。一方、働きたくないと思っている者は、「オフィスのほうがコミュニケーションが円滑に行える」や「直接話して仕事をしたい」「自分の仕事ではテレワークは無理なので」などが見られる。また、どちらともいえないと思っている者は、「家にテレワークに適したWi-Fiや家具がないため」や「通勤時間を減らせる等はあるが、業務の効率化は難しい」「今の会社は対面での仕事のため、テレワークの導入は難しいし、それに納得しているため」などが見られる。

#### ■ 「テレワーク」での就業意向度について（全体／単一回答）

□全体

		（%）					働きたい・計	働きたくない・計
		働きたい	どちらかという と働きたい	どちらとも いえない	どちらかという と働きたくない	働きたくない		
●凡例								
全体	n=993	46.9	21.5	19.1	6.3	6.1	68.4	12.5

□業種別

		（%）						働きたい・計	働きたくない・計
	n	働きたい	どちらかという と働きたい	どちらとも いえない	どちらかという と働きたくない	働きたくない			
全体	993	46.9	21.5	19.1	6.3	6.1	68.4	12.5	
建設業	53	54.7	11.3	20.8	11.3	1.9	66.0	13.2	
製造業	311	51.1	24.4	14.5	5.8	4.2	75.6	10.0	
流通業	45	44.4	26.7	13.3	11.1	4.4	71.1	15.6	
金融業	65	53.8	23.1	13.8	3.1	6.2	76.9	9.2	
サービス・情報業	423	44.2	19.1	22.2	5.9	8.5	63.4	14.4	
官公庁	55	32.7	32.7	23.6	10.9	0.0	65.5	10.9	
その他・計	41	43.9	12.2	29.3	2.4	12.2	56.1	14.6	

□地域別

		（%）						働きたい・計	働きたくない・計
	n	働きたい	どちらかという と働きたい	どちらとも いえない	どちらかという と働きたくない	働きたくない			
全体	993	53.3	21.5	19.1	6.3	6.1	68.4	12.5	
北海道・東北	107	53.3	21.5	13.1	7.5	4.7	74.8	12.1	
関東	424	52.1	21.9	16.7	4.2	5.0	74.1	9.2	
中部	102	39.2	22.5	23.5	6.9	7.8	61.8	14.7	
近畿	205	42.9	23.4	21.5	5.4	6.8	66.3	12.2	
中国・四国	74	33.8	18.9	25.7	12.2	9.5	52.7	21.6	
九州	81	43.2	14.8	22.2	12.3	7.4	58.0	19.8	

※ n 数が50未満の場合、参考値として掲載

## 5) 「テレワーク」での就業意向別の理由について（自由回答）

### ■「テレワーク」での就業意向別の理由（自由回答）

#### <働きたいと思う理由（「働きたい」「どちらかという働きたい」との回答者）>

- 出勤・退勤の手間などがなくなり、自分のスキルを高められる機会が増えると思うから。
- 現代的な働き方って感じがするから。
- 自分のライフスタイルに合わせて働けるので。
- 通勤しなくていいから、オフィスが狭く使い勝手が悪いから。
- テレワークなら出勤1分前まで寝ていられるから。
- 人間関係にこれまで以上に悩むことは減りそうだと感じた為。
- コロナ禍において増えてきているため、ずっとではないが一度体験してみたい働き方などは多少考える部分がある。
- 情勢や自分の状況などに合わせて在宅勤務等を選べるのはありがたい。
- 出社せずに仕事ができるのは魅力的だが、完全リモートワークだと人の繋がりが絶たれて悲しいから。
- 余計な気を使うことや、身だしなみを整えたりする時間がない分、楽に感じる。
- 外に出なくていいというのはこのコロナの時期としては嬉しい。
- コロナ禍で人の目も気になるなか柔軟な対応をしている企業には好感をもてるため。
- 場所にこだわらずに仕事ができるならば、仕事場は自由にしたい。
- 東京だけでしか仕事がないと思っていたけれど地元にもどってもネットがあれば仕事ができるため節約にもなると思った。
- 自分の所属しているチームでのコミュニティが上手く築けていれば、リモートワークは自分の時間も有意義に使えるから。
- コロナで人の多い通勤などはなるべく避けたいから。
- やりたいが、社外に持ち出せない情報もあるので、難しいかと思う。
- 出勤時間やお弁当を作る時間などが短縮できる。
- 介護や育児をしている人が働きやすいから。

#### <働きたくないと思う理由（「働きたくない」「どちらかという働きたくない」との回答者）>

- オフィスのほうがコミュニケーションが円滑に行える。
- 営業だから店に行かないと仕事にならないし、テレワークだと集中できない。
- 人と接することが好きだから。
- テレワークだと自由に時間も場所も選べるが会社に行っただけが面白いからあまり働きたくないと思う。
- テレワークは時間に余裕ができるので良いがやる気が出ないため。
- 疑問点を解決しにくいから。
- なんとなくめんどくさそう。
- 現場じゃないと情報においてかれるから。
- 直接話して仕事をしたい。
- 電話などがかかってきた時、自分のスマートフォンで出る必要があるのが嫌である。
- ICTを活用できない人もいると思うから。
- 設定が面倒くさい。
- パソコンの知識が無いから。
- 接客業なのでテレワークができない。
- 医療業では不可能。
- 自分の仕事ではテレワークは無理なので。

#### <どちらともいえないと思う理由（「どちらともいえない」との回答者）>

- 家にテレワークに適したWi-Fiや家具がないため。
- 通勤時間を減らせる等はあるが、業務の効率化は難しい。
- オンとオフができなそう。
- いいと思うが、自分の会社は仕事内容的に導入が現実的ではない。
- できるに越したことはないが、家では集中できない。
- ずっと家にいるのも疲れてしまいそうだから。
- 今の働き方に不自由を感じてないから。
- リモートワークは良いと思うが、自分の職種では成立しない働き方。
- 今の会社は対面での仕事のため、テレワークの導入は難しいし、それに納得しているため。
- テレワークだけでは成り立たない仕事だから。
- 仕事の効率化になるか微妙だと思うから。
- 今の時代には必要なのだろうが、自分だけの空間だと息がちな自分には合わない。
- 意思疎通が取りにくいから。
- 会議とかは直接の方が良い。
- テレワークをそこまでしたいと思わない。
- どのように仕事しているのか想像がつかない。
- やった事ないからわからない。

## 6) 「テレワーク」導入状況から見る「テレワーク」での就業意向度について

### 「テレワーク」導入状況にかかわらず、半数以上は「テレワーク」で働きたい意向

「テレワーク」導入状況から「テレワーク」での就業意向を見る。

「テレワークが導入されている」では、「働きたい・計」が78.1%と8割近くである。一方、「導入されていない」では、「働きたい・計」が59.5%と約6割である。また、導入状況が「わからない」でも、「働きたい・計」は57.0%と、6割近くである。

「テレワーク」の導入状況にかかわらず、テレワークで働きたいと思っている者は半数を超えているが、働きたくないと思っている者も、ほぼ同じくらい（1割強）である。

#### ■ 「テレワーク」導入状況から見る「テレワーク」での就業意向度について（全体／単一回答）

##### □ 「テレワーク」導入状況別

		(%)					働きたい・計	働きたくない・計
		働きたい	どちらかという と働きたい	どちらともい えない	どちらかという と働きたくない	働きたくない		
●凡例								
再掲)全体	n=993	46.9	21.5	19.1	6.3	6.1	68.4	12.5
導入されている	n=489	55.2	22.9	10.4	6.7	4.7	78.1	11.5
導入されていない	n=390	40.3	19.2	26.7	6.4	7.4	59.5	13.8
わからない	n=114	34.2	22.8	30.7	4.4	7.9	57.0	12.3